

事業番号	事務事業名	地域包括ケアシステム構築促進事業費	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
01540	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	介護保険係	担当者・シート作成者	井手 俊文
	施策名	14 高齢者福祉の推進	根拠法令等	介護保険法(平成9年法律第123号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	介護予防・日常生活支援総合事業で行うサービスが安定して提供できるよう、社会福祉協議会・外3事業所と、事業の委託契約を締結し、委託料を支払う。	地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律(平成元年法律第64号)の改正法が平成26年に施行され、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援を包括的に確保する地域包括ケアシステムを構築することとなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 要支援認定者	ア 要支援認定者数	人	見込 実績	212 228	189 238	200 235	220	220
イ 事業対象者	イ 事業対象者数	人	見込 実績	109 101	109 103	110 93	110	110
ウ 第1号被保険者	ウ 第1号被保険者数	人	見込 実績	4,727 4,747	4,689 4,757	4,651 4,726	4,613	4,670

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 必要な人が過不足なく訪問型サービスを受けられるようにする	ア ヘルサボかがみの利用者数	人	目標 実績 達成率	35 41 117.1%	35 41 117.1%	35 48 137.1%	50	50 96.0%
イ 必要な人が過不足なく通所型サービスを受けられるようにする	イ ガンバランドかがみの利用者数	人	目標 実績 達成率	181 139 76.8%	181 135 74.6%	181 125 69.1%	181	181 69.1%
ウ 生活支援を受けながら住み慣れた地域で安心して生活する	ウ 生活応援隊利用者数	人	目標 実績 達成率	22 14 63.6%	22 15 68.2%	22 15 68.2%	22	22 68.2%

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 契約締結	ア 契約締結回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ 委託料支払い	イ 委託料支払回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
ウ サービス内容等について検討	ウ 総合事業全体会議開催回数	回	目標 実績 達成率	10 1 10.0%	10 0 0.0%	5 0 0.0%	5	5 0.0%

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		03 項 01		04 目 06		021 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		民生費		社会福祉費		老人福祉費		地域包括ケアシステム構築促進事業費					
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	01540	
国庫支出金						国庫支出金								
県支出金						県支出金								
町債						町債								
その他特財						その他特財								
一般財源	31,267	33,228	35,802	36,284	36,284	2,574	一般財源	30,463	33,072	35,534	36,284	4	2,462	
合計	31,267	33,228	35,802	36,284	36,284	2,574	合計(A)	30,463	33,072	35,534	36,284	4	2,462	
財源名称	従事正職員人数						5	5	1	1	1	-4		
	延べ業務事務時間						16	16	16	16	16	0		
	人件費計(千円)(B)						56	53	54	55	55	0		
	最終予算額		35,802 千円	予算執行率		99.2%	トータルコスト(A+B)	30,519	33,125	35,588	36,339	58	2,462	
主な 支出事業内容 ( 予 算 )	委託料(物)				34,802 千円		主な 支出事業内容 ( 決 算 )	委託料(物)				34,534 千円		
	負担金(その他)				1,000 千円			負担金(その他)				1,000 千円		

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
地域包括ケアシステムは、今後高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図っていくことになる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
事業内容及び実施について、地域包括支援センター、社会福祉協議会と協議を重ねた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
安心して訪問や通所のサービスを利用したい。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 地域包括ケアシステムを構築するための事業であり、政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 地域包括ケアシステムは町が関与し、住民、専門職などと協力して構築していくものである。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制を構築することになることから、高齢者のみならず障害者、子どもなど生活上の困難を抱える方を対象にすることになる。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 関係者が協働し、地域包括ケアシステムの深化を図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 法律の規定により実施しているものであり、廃止・休止することはできない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> より良い方法が行えるよう、関係者により検討して行く必要がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 事業費は社会福祉協議会がこの事業を行うために必要な経費となっており、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 必要最低限の人員及び時間により行っており、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 対象は65歳以上の高齢者であり、公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制を構築することから、高齢者のみならず障害者、子どもなど生活上の困難を抱える方を対象にすることになる。関係者が協働し、地域包括ケアシステムの深化を図る必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 地域包括ケアシステムの深化・充実に向けて、関係者で検討し、改善していく。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)